

橿原市

第3回大和八木駅周辺地区まちづくりワークショップ 実施結果

実施日時：平成29年2月18日（土）午後1時～午後5時

場 所：大和信用金庫八木支店ビル3F第1会議室

橿原市

平成29年7月

— 目 次 —

1. ワークショップの概要	1
2. 第3回ワークショップの出席者とグループ分け	1
2.1. 参加人数.....	1
2.2. グループ分け.....	1
3. 第3回ワークショップの様子	2
4. 第3回ワークショップの意見	3
4.1. まちづくりの目指すべき姿（案）に対する意見.....	3
4.2. 大和八木駅北側.....	5
4.3. 大和八木駅南側.....	9
4.4. 今井町.....	11
4.5. 八木町・畝傍駅.....	12
4.6. 現庁舎.....	12
4.7. 飛鳥川.....	14
4.8. 共通・その他.....	14

1. ワークショップの概要

大和八木駅周辺地区のまちづくりでは、地域との協働のまちづくりに向けた取り組みのひとつとして、住民参加ワークショップを開催します。ワークショップでは、「大和八木駅周辺地区まちづくりに対する地域住民の関心及び理解を得ること」、及び「地域住民同士、意見交換を行い、出てきた意見を大和八木駅周辺地区まちづくり基本構想及び基本計画に反映すること」を主な目的とします。

また、ワークショップに参加するメンバーは一般公募とし、市のホームページ、広報誌等で広く市民に周知します。幅広い視点から、住民等が主体性をもち活発に意見交換を行える状況を整え、実施するものです。

表 1-1 ワークショップの概要

開催回数	全3回開催します。	
実施時期	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回：平成 28 年 7 月 2 日(土)午前 9 時～午後 5 時 ・第2回：平成 28 年 11 月 26 日(土)午後 1 時～午後 5 時 ・第3回：平成 29 年 2 月 18 日(土)午後 1 時～午後 5 時 	
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年 7 月 2 日現在で 18 歳以上の市内在住・在勤・在学の方とします。ただし、市職員、市議会議員は除きます。 	
進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ協議の進行はファシリテーターが担当し、すべての参加者が平等に発言する機会を確保することにつとめ、相反する意見がグループ内であった場合にも、どちらも尊重し、参加者が自由に意見を述べる機会を確保します。 	
実施内容	第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・開催趣旨、ワークショップ実施概要について説明を行います。 ・現地のまちあるきで大和八木駅周辺地区の現状を確認します。 ・グループ毎に地区の課題、大和八木駅周辺地区のまちづくりの取組方針について意見交換を行います。 ・グループ毎で協議した内容を発表します。
	第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ毎で基本計画（素案）について意見交換を行います。 ・グループ毎で協議した内容を発表します。
	第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ毎で基本計画（案）について意見交換を行います。 ・グループ毎で協議した内容を発表します。
協議グループ構成	<ul style="list-style-type: none"> ・1グループ、6～7人で構成します。 	
傍聴について	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての市民の方が聴衆として参加することができます。 	

2. 第3回ワークショップの出席者とグループ分け

2.1. 参加人数

市のホームページに平成 28 年 5 月 27 日より公募を行い、6月の広報誌にお知らせを掲載したところ、一般公募は9名でした。地域団体と学校関係者に別途声掛けを行い、参加者を募りました。参加者と当日の出席者の内訳は次のとおりでした。

表 2-1 参加者内訳

区分	参加者	当日の出席者
一般公募	9名	8名
地域団体	9名	8名
学校関係者	7名	3名
計	25名	19名

2.2. グループ分け

当日の出席者の人数から、次のとおりグループ分けを行い、全4グループとしました。

表 2-2 グループ構成

グループ	区分	当日の出席者
グループA	一般公募	3名
	地域団体	1名
	学校関係者	1名
		計5名
グループB	一般公募	2名
	地域団体	3名
	学校関係者	1名
		計6名
グループC	一般公募	2名
	地域団体	2名
	学校関係者	1名
		計5名
グループD	一般公募	1名
	地域団体	2名
	学校関係者	0名
		計3名

3. 第3回ワークショップの様子

グループ毎に分かれ、第2回ワークショップの結果を踏まえて、基本構想にまとめられた「大和八木駅北側」「大和八木駅南側」「今井町」「八木町・畝傍駅」「現庁舎」「飛鳥川」の6つのエリア毎に、基本計画作成にあたっての具体的なアイデアについて意見をもらいました。



<グループ協議の様子>



<全体の様子>

4. 第3回ワークショップの意見

「まちづくりの目指すべき姿（案）」について、ワークショップ参加者に対して、市が考えた6つのエリア毎の「まちづくりの目指すべき姿（案）」を提示し、それに対する意見をもらいました。

また、エリア別に出されたワークショップ参加者の意見を「整備の方向性・具体策」、「情報提供・ソフト施策」、「検討の進め方」に分類した上で、意見要旨としてまとめたものを次に示します。

4.1. まちづくりの目指すべき姿（案）に対する意見

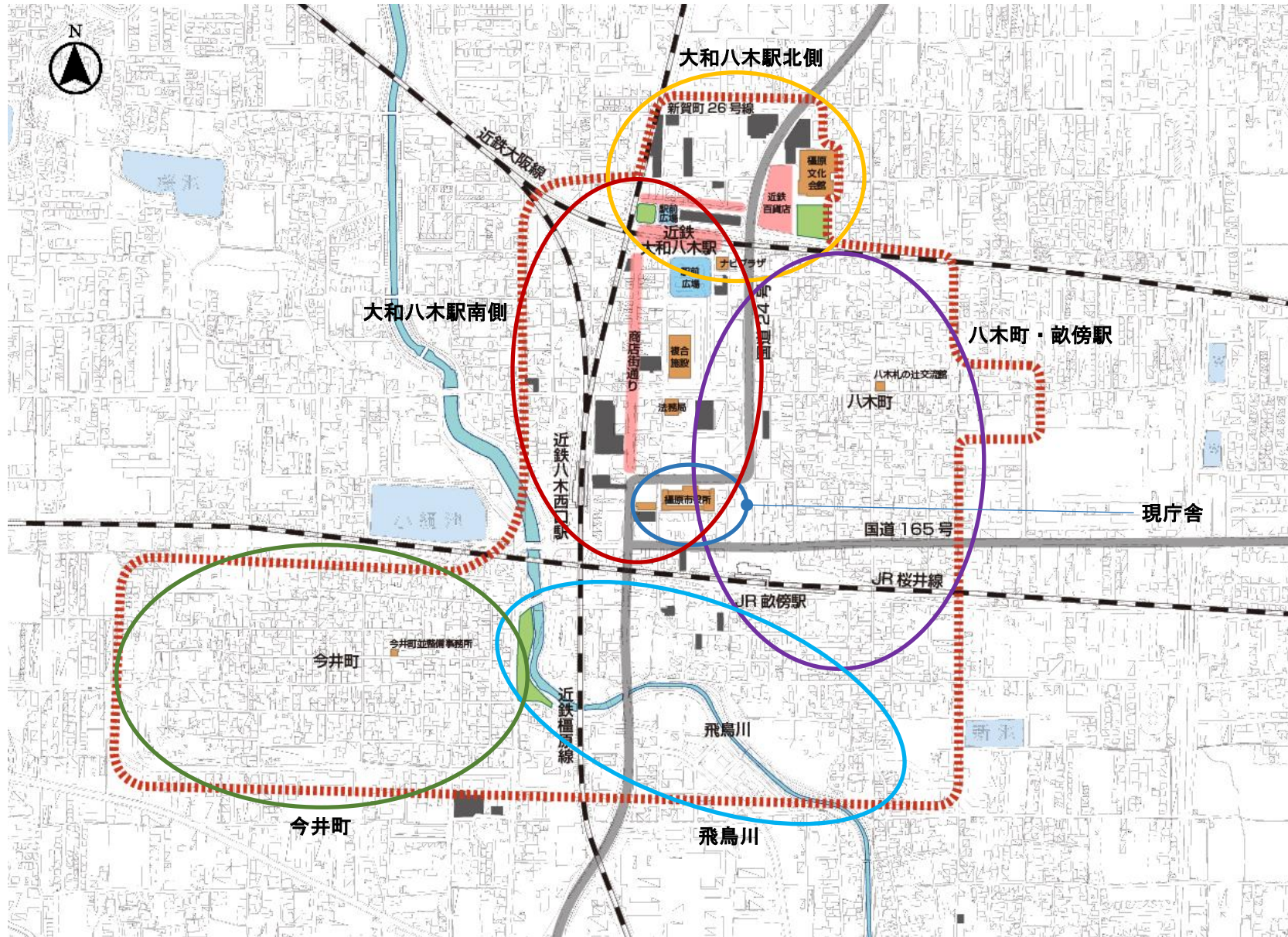
(1) まちづくりの目指すべき姿（案）

エリア名称	まちづくりの目指すべき姿（案）
①大和八木駅北側	多世代にとって便利で住みやすく、賑わいのある駅前空間
②大和八木駅南側	中南和の玄関口として賑わいのある滞在型広域観光の拠点
③今井町	伝統的な町家等の歴史的資源を生かした、魅力あるまち
④八木町・畝傍駅	観光資源やまちなみを生かした回遊性の向上と安心安全な歩行者空間の確保
⑤現庁舎	本庁舎の災害活動拠点としての役割の充足と行政機能の集約による市民サービスの向上
⑥飛鳥川	飛鳥川沿いに点在する観光資源を結ぶ、回遊ルートの形成

(2) まちづくりの目指すべき姿（案）に対する意見

エリア名称	意見要旨	グループ
①大和八木駅北側	子どもたちにとって安全・安心な駅前空間とすることで、親世代にとっても住みよいまちになる。	D
②大和八木駅南側	一息ついたり、ゆっくり休憩できる空間といった樫原で止まらせるまちの構造が必要である。	D
④八木町・畝傍駅	生活のための道路は、市民の生活道となっている下ツ道等、旧道の整備も必要である。	D
	駅周辺の動線整備を行うことで、住みやすい便利なまちになる。	D
⑤現庁舎	災害活動拠点といった行政機能だけでなく、市民、来訪者が有効に活用できる視点が必要ではないか。	D
⑥飛鳥川	飛鳥川自体を綺麗で魅力的なものとし、広域の安全確保に繋げる視点も必要。	D
地区全体	今回提示された各エリアの目指すべき姿は、これまでの市の考え方を踏襲している。	C
	市域全体については他の計画で検討すれば良いので、今回のワークショップはエリアごとに話をするので良い。	C
	住民にとって住みやすい町を目指せば、観光客にとって来やすいまちになっていくと思うので、自然に観光客の導入につながると思う。	C

大和八木駅周辺地区の6つのエリア



4.2. 大和八木駅北側

エリア	方策等	意見要旨	住民意見	グループ
大和八木駅北側	整備の方向性・具体策	駅北は南側と連携しつつ、南とは異なる「憩い」の賑わいを創出できると良い。	駅北側は南側と同様の賑わいではなく、憩いといった棲み分けが必要。	B
			棲み分けながらも、北と南の繋がりがあると良い。	B
		遅くまでやっているカフェやゆっくり休憩できる空間が駅周辺に整備できれば、駅、百貨店、文化会館といった点での滞在ではなく、それらが周辺と連携した面への滞在中に繋がり、街の魅力が高まる。	文化会館のイベント後に滞在できる喫茶店などが文化会館や駅前にあるとよい。	A
			駅前にカフェの様なくつろいで時間を過ごせる場所が不足している。閉店が早い店が多いので、夜間は特にそういう場所がない。	A
			現状では駅、百貨店、市民会館といった点での滞在になってしまっているが、それらの拠点や周辺とが連携した面として滞在できるものが有れば賑わうのではないかと。	B
			通過する場所ではなく、橿原で過ごしたいと思わせるには、一息ついたり、ゆっくり休憩できる空間を整備し、街の魅力を高める必要がある。	D
		子供を産み育てる環境を整えることが人口増加につながると思うので、駅ナカに保育所があると良い。市外から働きに来ている人にとっても利便性が高い。	駅ナカに保育所があれば、橿原市に働きに来ている市外の住民も駅に利便性を感じるようになる。	A
			定住人口を増加させるには、産婦人科や保育園の整備など、子供を産み育てる環境を整えることが重要だ。	C
		駅近くにレンタルCD・DVDショップがあつたり、気軽に集える多目的スペースがあると、若者や学生にとって便利で良い。	駅のショッピングモールにレンタルCD・DVDショップがあると通勤通学時に利用できて便利である。	A
			新たな整備ではなく、既存の施設等を多目的に利用し、学生が集える場所がつけるとよい。	C
		現状の駅前広場は人が溜まることができずバリアフリーにもなっていないので、中核となる駅にふさわしい、多世代交流が生まれイベントが開催できるような広場があると良い。	駅北の広場は段差があり、バリアフリーになっていない。中核となる駅にふさわしい駅前広場の整備が必要だ。	B
			現在の広場(人の広場)は、滞在できないため人が集まらない。様々なイベントが開催でき、多世代の交流ができるような広場があると良い。イベントスペースとして活用することを考えると、作り込んだ空間ではなく、ベンチ程度が設置されていれば良いのではないかと。	C

エリア	方策等	意見要旨	住民意見	グループ
大和八木駅北側	整備の方向性・具体策	駅北にはマンションが増えて人口が増加していることを踏まえ、安全性に配慮した歩行空間や公園、住民が集える場を整備できると良い。ただ、民有地が多く、理想論だけで計画は進まないと思うので、長期的検討が必要だろう。	駅北の公園は狭く、奥まった場所にある。もっと開放感ある安全な公園が必要だ。	B
			駅北側にはマンションが多くあり、人口が増加しているエリア。しかし、細く暗い空間や、一見分かりにくい道路を通らないとそのエリアに抜けられないことが問題。人口が増えているエリアを大切に駅前再整備を進めるべき。	B
			駅北側に住む住民に向けて、集える場、留まれる場があると良い。	B
			北側の方がマンションが増えている。また、民有地で地権者がある敷地であるので、理想論だけでは形にできない。長期的な検討が必要である。	B
		通学路ともなる歩道を確保し、歩行者優先の安全で便利な空間づくりをしてほしい。	駅を利用する人は歩行者が一番多いと考えられるため、駐車場優先ではなく、歩行者に優しい空間にしてほしい。	B
			井戸の辻、畝傍駅、郵便局、八木西口駅、今井町までの道路拡張整備を急ぐ。また、大和八木駅南側、北側へ車の進入路を確保する。駅周辺は道路が狭く、進入路が少ない。歩道を確保し、低学年の子どもたちや大学生のための通学路を整備することで安全で便利なまちをめざす。	D
		大和八木駅西側の住民が駅を利用しやすくなると共に、観光客の利便性も向上すると思うので、大和八木駅の西口に改札を設けてほしい。	駅西側の住民が駅を利用しやすいよう八木駅西口に改札を新設してほしい。	A
			八木駅西口に改札ができれば、住民だけでなく来訪者も駅西側を利用しやすくなるので人の流れができるのではないかな。	A
		立体駐車場の車路を走行しやすくしたり夜間や土日祝日の料金を変えるなど、使いやすくなるような対策をすれば、利用率は上がるのではないかな。	立体駐車場の車路を車が走行しやすいよう整備してほしい。そうすれば利用率が上がるのではないかな。	A
			夜間や土休日の値段を変更するなど立体駐車場の料金体系をフレキシブルにして利用率を上げてほしい。	A
		駅北直近の一等地に駐車場があるのはもったいないし、駅前広場やカフェなどを整備するスペースを確保するためには駐車場の撤去が必要になるだろう。	駅北の直近を駐車場が占めてしまっているのはもったいない。駐車場はもう少し駅から離れていても良いのではないかな。	B
			現在の規模の駐車場は駅北側には、ぜいたくすぎると思われる。	B
北側の立体駐車場を撤去しない場合には、国道24号から北側駅前広場へ出入する車が増えて、南側に至る交通にも影響を及ぼす。また、 <u>駐車場を撤去しないと北側にはスペースが無く、民間事業者が例えば提案としてあがっているようなカフェ等を整備する余地がない。</u>	B			

エリア	方策等	意見要旨	住民意見	グループ
大和八木駅北側	整備の方向性・具体策		駅前に多目的に利用できる広場をつくるには、駅前の駐車場の撤去が必要だと思う。しかし、駅の近くに駐車場は不可欠なので、地下化したり、近隣に新たな駐車場を整備する必要がある。	D
		北側の立体駐車場を撤去しない場合には、国道 24 号から北側駅前広場へ出入する車が増えて、南側に至る交通にも影響を及ぼす。	北側の立体駐車場を撤去しない場合には、国道 24 号から北側駅前広場へ出入する車が増えて、南側に至る交通にも影響を及ぼす。また、駐車場を撤去しないと北側にはスペースが無く、民間事業者が例えば提案としてあがっているようなカフェ等を整備する余地がない。	B
		大和八木駅北側には駅前広場も駐車場も必要だと思うので、共存できる様に現在の駐車場スペースを縮小してはどうか。	大和八木駅北側には駅前広場も駐車場も必要だと思うので、共存できる様に現在の駐車場スペースを半分に縮小してはどうか。	D
		駅北の駐車場を撤去する場合は、現在の駐車場利用者が引き続き大和八木駅を利用してくれるように、近隣に代替の駐車場を整備する必要がある。	駅北の駐車場を撤去する場合は、現在の利用者が引き続き大和八木駅を利用してくれる様に、近隣に代替の駐車場を整備する必要がある。	D
			駅前に多目的に利用できる広場をつくるには、駅前の駐車場の撤去が必要だと思う。しかし、駅の近くに駐車場は不可欠なので、地下化したり、近隣に新たな駐車場を整備する必要がある。	D
		駅前の駐車場がなくなると利便性が低下し、これまでの利用者が他の駅を使うようになって市外に人が流れてしまう可能性がある。	使用可能な駐車場を活かして、広域な人の呼び込みを考える。	B
		駐車場が人を呼び込んでいることを認識すべきではないか。	駐車場がなくなることの不便さも考えるべき。	B
			駅前の駐車場がなくなると、これまでの利用者が他の駅の駐車場を使う様になり、人が市外に流れて、市内がさびれてしまうのではないか。	D
		駐車場の建物が使用可能な期間は使い続けた方が無駄がなくて良い。	使用可能な期間は駐車場を使用し続けた方が良い。	B
		不法駐輪が減り、街の景観の改善につながると思うので、駅北側の駐車場は駐輪場にしてはどうか。	不法駐輪が減る様に駅北側の駐車場は駐輪場にしてはどうか。街の景観の改善につながる。	C
駅北側からの東西南北のアクセス道路を再検討する必要がある。	駅北側からの東西南北のアクセス道路を再検討すべきだ。	C		
大和八木駅北側の車の進入路は南北共に狭く、動線も悪いので改善が必要だ。	大和八木駅北側の南北共に車の進入路が狭く、動線も悪い。自転車・自動車・徒歩の動線の悪さを改善したほうがよい。立体駐車場には、市外の方が 7 割来られているなど利用者がいるのにわかりにくい。	D		

エリア	方策等	意見要旨	住民意見	グループ
大和八木駅北側	整備の方向性・具体策	北側ロータリーやアクセス道路が混雑しているため、送迎などの短時間利用者が駅前交差点の混雑を回避できる別動線をつくるなどの対策が必要だ。	ロータリーにアクセスする道路について、送迎などの短時間利用者が駅前交差点の混雑を回避できる別動線をつくってほしい。	A
			国道24号や北側ロータリーが大変混雑しているため、状況の改善が必要だ。	D
		国道24号の整備を進め、新賀町26号線から線路沿いにアクセス道路を開通させるなどの対策によって渋滞を早期に改善してほしい。近鉄百貨店の車両出入口も渋滞要因の1つになっているため、近鉄も含めた検討が必要だ。	広域の渋滞は道路計画が進まないことに要因がある。国道24号を早く整備し、駅周辺の動線を確保することで住みやすい便利なまちにしてほしい。	D
			国道24号や北側ロータリーが大変混雑しているため、状況の改善が必要だ。	D
			近鉄百貨店の車両出入口や橿原文化会館の正面側にある車両出入口が国道24号の渋滞の要因になっている。近鉄の営業日の問題も含め、県、市、近鉄で早急に対応する必要があるのではないか。	D
			国道24号の渋滞緩和のためには、新賀町26号線から線路沿いにアクセス道路を早期に開通させる必要がある。	D
			国道24号の渋滞を解消するために、大和八木駅北側の駅前空間と新賀町26号線との連絡道路は、線路沿いを通したらよい。	D
			大和八木駅北側の駅前空間と新賀町26号線との連絡道路は、線路沿いを通したらよい。	D
		駅北側の交通広場は新賀町26号線などの周辺道路とのアクセス性を高め、広域から訪れやすく、また周辺地域に行きやすいものにできると良い。	駅北側の広場は周辺道路とのアクセス性を高め、色々なところから出かけやすく、色々なところから訪れやすい広場としたい。	A
			駅北側の広場は新賀町26号線とつながる、橿原市外の地域も含めた広域から使いやすい広場としたい。	A
		今の駅前、特に北側は通り抜けの道が細く、歩行者に配慮されている空間とは言い難い。バリアフリーに配慮し、安全にくつろいで歩ける駅とマンションエリアを結ぶ南北道路を整備してほしい。	今の駅前、特に北側は通り抜けの道が細く、歩行者に配慮されている空間とは言い難い。バリアフリーに配慮し、安全にくつろいで歩ける駅とマンションエリアを結ぶ南北道路を整備してほしい。	B
		国道24号の横断がスムーズになる様に、近鉄デパートへの西→東側への立体歩道橋が整備できると良い。	国道24号の横断がスムーズになる様に、近鉄デパートへの西→東側への立体歩道橋が整備できると良い。	C

エリア	方策等	意見要旨	住民意見	グループ
大和八木駅北側	整備の方向性・具体策	新賀町の交差点は交通量が多く混雑しているため、歩行者が安心して横断できるように再整備してほしい。	新賀町の交差点は交通量が多く混雑しているため、歩行者が安心して横断できるように再整備してほしい。	A
		高齢化が進み踏切事故の発生が懸念されるので、踏切をなくすためには大和八木駅から東方の近鉄線耳成駅までの高架化がされると良い。	高齢化が進み踏切事故の発生が懸念されるので、踏切をなくすためには大和八木駅から東方の近鉄線耳成駅までの高架化がされると良い。	D
	ソフト施策 情報提供	人口増を目指すには、ハード対策と合わせて土地代の安い区域をつくるなどのソフト対策を行う必要がある。	動線整備といったハード対策と合わせ、土地代の安い区域をつくるなどソフト対策を合わせて行い、人口増に繋げる。	D

※一つの住民意見の中に複数の内容が含まれているため、別々の意見要旨に取り入れる場合には、どの部分を当該意見要旨に反映しているのかがわかる様に、該当箇所に下線をつけています。（詳細は16ページを参照してください。）

4.3. 大和八木駅南側

エリア	方策等	意見要旨	住民意見	グループ
大和八木駅南側	整備の方向性・具体策	図書館やカフェなども活用し、多世代が交流できる場がつけると良い。	図書館やカフェなども活用し、多世代が交流できる場があると良い。	C
		勉強できるスペースや図書館、気軽に立ち寄れるスーパーなどが駅近にあると、学生や若者にとって利便性が高い。	現在1つだけある図書館は使いづらくアクセスも良くないので、受験生や学生が勉強できるスペースを確保できるとともに、地域の活性化に資する図書館が駅の近くにあると良い。	C
			百貨店は学生には敷居が高いので、学校帰りに気軽に入れるスーパーがあると良い。	C
		高齢者が気軽に集まったり、運営に携わって社会貢献できるように施設があると良い。	今は高齢者が集える場所がないので、気軽に集まれる施設があると良い。	C
			高齢者が運営に携わったり、子供の面倒を見たりすることで貢献できる施設があると良い。	C
		ナビプラザを情報拠点としてだけでなくもっと有効利用するために、カフェや図書館などを併設して人が溜まれる空間にしてはどうか。	来訪者がナビプラザを使いやすいように人気のあるカフェを併設するとよい。	A
ナビプラザに民間のカフェやカフェ付きの図書館など、人が溜まれる空間があるとよい。	B			
ナビプラザは駅に近いという利点があるのだから、情報拠点としてだけでなくもっと有効に活用すべきだ。遅くまで営業しているカフェを設けたり一部図書館にするなど、人が溜まれる空間があるとよい。	B			

エリア	方策等	意見要旨	住民意見	グループ
大和八木駅南側	整備の方向性・具体策	ナビプラザを駅直結にしたり、駅からのわかりやすい動線を確保することにより、来訪者への認知度が上がり、アクセスもしやすくなると思う。	インフォメーション機能のあるナビプラザを来訪者が使いやすいように駅と直結できるとよい。	A
			駅からの動線がはっきりしない。少なくともナビプラザを活かすべき。	B
			駅からナビプラザや新分庁舎に行きづらい。ナビプラザへ動線をむける必要がある。	B
		多言語対応や開館時間の延長などを行って使いやすくなることで、ナビプラザのインパクトが増し利用者が増えるのではないか。	ナビプラザは来訪者へのインパクトが不足している。多言語にも対応できる様にして、もっと活用すべきだ。	B
			ナビプラザ活用のためには、オープン時間を延長すると良い。	B
			レンタサイクルの場所を分かりやすくしてほしい。	A
	情報提供の場や土産物屋が少ない、レンタサイクルの場所がわかりにくいなど、観光地としての整備が不十分なので、大和八木駅から今井町の間には土産物屋を整備したり、市所有の空地にPR※1施設を作ることができないか。	観光地という割には土産物屋など、観光客向けの施設が少ない。ナビプラザを活用すべき。	B	
		駅南に地域のPR※1ができる場所があればよい。市所有の空き地を活用できないか。	C	
		八木西口駅を無くして、大和八木駅から、八木西口駅、今井町までの間に土産物屋を整備する。観光客はどこで土産を購入しているのか。	D	
	情報提供・ソフト施策	ナビプラザを中南和観光の玄関とするのであれば、周辺自治体とも連携し、積極的に中南和全体の情報を提供する必要がある。	ナビプラザの観光情報発信について、明日香や高取など周辺の自治体とも協力して強化するとよい。	A
			ナビプラザ1Fを中南和の玄関として情報拠点とするのであれば、橿原市だけでなくもっと中南和全体の情報をアピールすべきではないか。	B
			観光の出発地点としての意識を持ったナビプラザの整備が重要だ。	B

※一つの住民意見の中に複数の内容が含まれているため、別々の意見要旨に取り入れる場合には、どの部分を当該意見要旨に反映しているのかがわかる様に、該当箇所には下線をつけています。（詳細は16ページを参照してください。）

4.4. 今井町

エリア	方策等	意見要旨	住民意見	グループ
今井町	整備の方向性・具体策	今井町は歴史的な町並みや車が入れない歩行者優先の街路の狭さが魅力になっているので、そういうまちのつくりを活かした展開をしていくのが良い。	今井町の街路や商業の拠点として出来上がった町並みなど歴史的なまちのつくりを活かしたい。	A
			今井町は車が入れない街路の狭さが歩行者優先につながり、魅力になっている。そういった空間や歴史的資源を生かした展開ができるエリアだ。	B
		市内の他の観光スポットから今井町にアクセスがしやすくなると、観光客の回遊性を増すことができるのではないかと。	今井町に他の地域からアクセスしやすくなると観光客の回遊性を増すことができる。	A
		今井町の住民が医療機関などを利用しやすいように、JRの北側から今井町にアクセスしやすくしてほしい。	今井町の住民が医療機関などを利用しやすいように、JR北側から今井町にアクセスしやすくしてほしい。	A
	情報提供・ソフト施策	今井町は町内の案内所の場所がわかりにくい、パンフレットを入手できる場所が少ないなど、訪れる観光客への情報提供が不十分なので、もっと充実させる必要がある。	今井町に寒い中でも訪れる方々に、わかりやすいパンフレットが手近なところに置いていないので、観光客に配慮したパンフレットの配置や観光案内の充実を図る。	B
			案内所が今井町の中にあり、わかりにくい。観光地にしていくなら、もっと前面にアピールすべき。	B
		今井町と八木町が共同してイベントを開催すると良い。今井町と八木町では知名度の差があるので、今井町と一緒にイベントをやることで八木町の知名度アップにつながるのではないかと。	今井町と八木町が共同してイベントを開催するとよい。今井町と八木町では知名度の差があるので、今井町と一緒にイベントをやることで八木町の知名度アップにつながるのではないかと。	A
	進め方の検討	今井町の住民の中には観光地化を望まない人もいると聞くので、観光振興を積極的に進めるのであれば、しっかり調整して軋轢がなくなるようにする必要がある。	住民がいる今井町で観光を押し進めても良いものか。住民と街並み保存会との間に軋轢があるとも聞くので、しっかりと現場と調整された体制づくりが重要と考える。	B
			今井町の自治会やまちなみ保存会と、観光振興の和合ができていないのはなぜか。今井町の住民の方は、観光地化を望んでいない。	B

4.5. 八木町・畝傍駅

エリア	方策等	意見要旨	住民意見	グループ
八木町・畝傍駅	整備の方向性・具体策	若者が飲食業などの事業を始めやすいような支援を空き家の活用などを通じてできると良い。	事業を始めるためのフォローがあれば始めてくれる人がいるはず。若者が飲食業などの事業を始めやすいような支援を空き家の活用などを通じてできると良い。	B
		JR 沿線は畑ばかりで住宅がないが、そこを安く宅地化することで人口増加につなげられないか。	JR 沿線は畑ばかりで住宅がないが、そこを安く宅地化することで人口増加につなげられないか。	D
		畝傍駅を観光客や地元の若者を呼び込める場所にし、認知度を高めるためには、ハード、ソフト両面の整備が必要だ。	畝傍駅を観光資源として認知、活用させるための方法や管理体制を考えてほしい。	A
			畝傍駅はきちんと整備すれば観光資源になる。	B
			JR 桜井線を利用してイオンモール橿原に来ている若者を、畝傍駅に呼び込めるようなハード、ソフト両面の整備が必要だ。	D
下ツ道などの旧道は市民の生活のための道路として重要なので、整備が必要である。	下ツ道などの旧道は市民の生活のための道路として重要なので、整備が必要である。	D		

4.6. 現庁舎

エリア	方策等	意見要旨	住民意見	グループ
現庁舎	整備の方向性・具体策	パスポート発行や社会保険事務所での手続きができる窓口など、行政サービスを充実させて利便性を向上させてほしい。	橿原市内でパスポート発行や社会保険事務所での手続きをできるようにするなど、行政サービスを充実させて利便性を向上してほしい。	A
		庁舎に用事がなくても気軽に立ち寄り、自由な時間が過ごせる様に、図書館やWi-Fi※2を整備したフリースペース、屋上農園などの機能を複合できると良い。	庁舎機能だけでなく、図書館や郵便局等、市民のための機能を入れた複合的な庁舎にする。	B
			用事がなくとも気軽に立ち寄れるように、他の機能を複合させたりオープンスペースを設けられると良い。	C
			市庁舎の屋上に畑があれば良い。	C
			学生が集まれるように、フリースペースを作ってテーブル、椅子、PCを設置したり、Wi-Fi※2の整備ができると良い。100円程度の安価な健康茶が地元で開発できないか。	C
			新庁舎には、市民、来訪者が活用できる図書機能を併せもったサロンのような空間があるとよい。	D

エリア	方策等	意見要旨	住民意見	グループ
現庁舎	整備の方向性・具体策	定住人口を増やすことを目指し、子育て世代が暮らしやすくなる様に保育園などの子育て支援施設を複合してはどうか。駅近の保育施設が足りない状況が改善できる。	定住人口を増やすためには子育て世代が暮らしやすいように、子育て支援を充実する必要がある。駅近の保育施設が足りない状況を改善してほしい。	A
			子どもの人口増加を目指し、保育所を複合してはどうか。市の職員にとっても利便性が高い。	C
		PFI※3手法を使って他の機能を複合するとかえって市の財政負担が増えるのではないかと。庁舎にはこれまでどおり役所の機能だけで十分だと思う。	八木駅南のホテルと庁舎の複合施設のように、PFI※2で実施すると結局のところ市の財政負担が増えるのではないかと。PFI※3手法を用いずふつうの機能の庁舎としてほしい。	B
			庁舎の上層階等に、マンションを建設してほしい。	B
		災害時の防災拠点としての機能向上のためには、ヘリポートが整備されると良い。	災害時の防災拠点としての機能向上を目指し、ヘリポート(併用を想定)が整備されればよい。	C
		現状では市庁舎の駐車場が分散しているが、集約して効率性を向上したら良い。	現状では市庁舎の駐車場が分散しているが、集約して効率性を向上したら良い。	C
		新庁舎と分庁舎を利用しやすいよう、歩行者デッキでつなぐとよい。	新庁舎と分庁舎を利用しやすいよう、歩行者デッキでつなぐとよい。	A
		一方通行にして流れを良くするなど、新庁舎の周辺道路の混雑を回避する計画をつくってほしい。	新庁舎の周辺道路は、一方通行にして流れを良くするなど混雑を回避する計画をつくってほしい。	A
	庁舎の一等地は行政の施設に使うのではなく、有効活用すべきである。新庁舎が現地建て替えであるならば、分庁舎の中に入っていた機能を、新庁舎に戻し、分庁舎の空間を有効活用すべきである。	庁舎の一等地は行政の施設に使うのではなく、有効活用すべきである。新庁舎が現地建て替えであるならば、分庁舎の中に入っていた機能を、新庁舎に戻し、分庁舎の空間を有効活用すべき。	D	
	50年で建替えるのではなく、長期間使用できる庁舎であるべきだ。	50年で建替えるのではなく、長期間使用できる庁舎であるべき。	B	
	進検め討方の	新技術を活用し、国の補助金を使用しながら、庁舎が整備されればよい。	新技術を活用し、国の補助金を使用しながら、庁舎が整備されればよい。	C
		もっと新庁舎に関する情報を市民に伝え、様々な方法で市民の意見を聞いた上で計画を進めるべきではないか。	新庁舎について、パブリックコメント、アンケートだけではなくもっと市民の意見を聞くべきではないか。	B
			新庁舎は災害拠点となるというのが具体的なイメージがわからない。新庁舎の整備を広く、市民に広報すると良い。	B
			行政からの情報発信を強化すると良い。	B

エリア	方策等	意見要旨	住民意見	グループ
現庁舎	進め方の検討	イベントなどに学生などの若者の意見を反映させ、活性化につなげられる様に、学生と企業・地元との連携が図れるような部署があれば良い。	イベントなどに学生などの若者の意見を反映させ、活性化につなげられる様に、学生と企業・地元との連携が図れるような部署があれば良い。	C

4.7. 飛鳥川

エリア	方策等	意見要旨	住民意見	グループ
飛鳥川	整備の方向性・具体策	桜並木を生かした遊歩道や自転車道を川沿いに全体に整備できれば、来訪者にとって魅力的な観光ルートとなると共に、市民も活用できるので良い。	桜並木を活かした散歩・観光ルート設定があるとよい。	A
			魅力ある歩道、自転車道の整備など、一部だけでなく、全体的な観光ルート整備ができると良い。	B
			飛鳥川沿いの自転車道をきれいに整備してほしい。綺麗で使いやすい自転車道になることは、市民にも来訪者にも活用してもらえることに繋がる。	D
		飛鳥川の護岸整備や水質改善を進め、景観や生活の安全性に配慮した川にしてほしい。	飛鳥川を本来の美しい川に戻す。景観に配慮された川ということは、護岸整備や水質改善により、広域的に住民の生活を守ることに繋がる。	D

4.8. 共通・その他

エリア	方策等	意見要旨	住民意見	グループ
共通・その他	整備の方向性・具体策	まち全体を考えた機能の整備計画がないため、重複したものがあ一方で足りないものも出てきている。駅の南北や西側までも一体に考えて計画することが重要だ。	まち全体を考えた機能の整備計画がないため、重複したものがあ一方で足りないものも出てきている。一貫性のある整備計画をつくり、それを共有することが重要だ。	A
			駅の北側だけでなく南側、西側も一体につながりを考えてまちづくりを考えるべき。	B
		橿原市は地価が高くなかなか定住者が増えないが、人口増加のためには居住の面だけでなく、働く場所を増やすことも必要ではないか。	橿原市は地価が高く、なかなか定住しない。人口アップのためには働く場所を増やすことも必要ではないか。	D
		地域が活性化するためには多方面からの人の流れを作り、地域にお金が落ちる様にする必要があるが、今はそれができていない。大和八木駅から八木西口駅、今井町までに土産物売店を整備できると良い。	地域活性化のためには地域にお金を落とす必要があるが、現状では大和八木駅から八木西口駅、今井町までに土産物売店がない。多方面からの人の流れを受け入れるためにも、整備できると良い。	D

エリア	方策等	意見要旨	住民意見	グループ
共通・その他	整備の方向性・具体策	将来的には新市庁舎が完成して車の流れが変わったり、交通手段が変化することが考えられる。そういった10年、20年後の交通環境の変化を見据えて、道路、駅前ロータリー、駐車場などの整備を考える必要があるのではないか。	新庁舎完成後に、車の流れの変化を見た上で道路の整備が必要ではないか。	B
		学生や子ども達の安全性に配慮して、畝傍駅から今井町への東西道路と大和八木駅から医大までの道路を整備する必要がある。	10年、20年後には交通環境も変わってくると思うので、将来のニーズを見据えて駅前のロータリー、駐車場などの整備を考える必要があるのではないか。	B
		畝傍駅から今井町への道路が整備されれば相互にアクセスしやすくなるので畝傍駅前通りを全て整備してほしい。	畝傍駅から今井町への東西と、大和八木駅から医大までの道路整備が進んでいない。特に学生や子ども達のために必要である。	D
		畝傍駅から今井町への道路が整備されれば相互にアクセスしやすくなるので、井戸の辻、畝傍駅、郵便局、八木西口駅、今井町までの畝傍駅前通りの道路拡張整備を早期にする必要があるのではないか。	畝傍駅から今井町への道路が整備されれば相互にアクセスしやすくなるので畝傍駅前通りを全て整備してほしい。	A
		大和八木駅南側、北側へ車の進入路を確保する。駅周辺は道路が狭く、進入路が少ない。	井戸の辻、畝傍駅、郵便局、八木西口駅、今井町までの道路拡張整備を急ぐ。また、大和八木駅南側、北側へ車の進入路を確保する。駅周辺は道路が狭く、進入路が少ない。歩道を確保し、低学年の子どもたちや大学生のための通学路を整備することで安全で便利なまちをめざす。	D
		まちの景観に統一感がないので、テーマを設定してそれを共有し、まちのバラバラな印象をなくしたい。	井戸の辻、畝傍駅、郵便局、八木西口駅、今井町までの道路拡張整備を急ぐ。また、大和八木駅南側、北側へ車の進入路を確保する。駅周辺は道路が狭く、進入路が少ない。歩道を確保し、低学年の子どもたちや大学生のための通学路を整備することで安全で便利なまちをめざす。	D
		まちの景観に統一感がないので、テーマを設定してそれを共有し、まちのバラバラな印象をなくしたい。	まちの景観に統一感がないので、テーマを設定してそれを共有し、まちのバラバラな印象をなくしたい。	A

※一つの住民意見の中に複数の内容が含まれているため、別々の意見要旨に取り入れる場合には、どの部分を当該意見要旨に反映しているのかがわかる様に、該当箇所に下線をつけています。（詳細は16ページを参照してください。）

※一つの住民意見の中に複数の内容が含まれているため、別々の意見要旨に取り入れる場合には、どの部分を当該意見要旨に反映しているのかがわかる様に、該当箇所に下線をつけています。

例：住民意見：北側の立体駐車場を撤去しない場合には、国道 24 号から北側駅前広場へ出入する車が増えて、南側に至る交通にも影響を及ぼす。また、駐車場を撤去しないと北側にはスペースが無く、民間事業者が例えば提案としてあがっているようなカフェ等を整備する余地がない。
⇒この住民意見については、2つの意見要旨に反映しています。

エリア	方策等	意見要旨	住民意見	グループ
大和八木駅北側	整備の方向性・ 具体策	駅北直近の一等地に駐車場があるのはもったいないし、駅前広場やカフェなどを整備するスペースを確保するためには駐車場の撤去が必要になるだろう。	北側の立体駐車場を撤去しない場合には、国道 24 号から北側駅前広場へ出入する車が増えて、南側に至る交通にも影響を及ぼす。また、 <u>駐車場を撤去しないと北側にはスペースが無く、民間事業者が例えば提案としてあがっているようなカフェ等を整備する余地がない。</u>	B
		北側の立体駐車場を撤去しない場合には、国道 24 号から北側駅前広場へ出入する車が増えて、南側に至る交通にも影響を及ぼす。	北側の立体駐車場を撤去しない場合には、国道 24 号から北側駅前広場へ出入する車が増えて、南側に至る交通にも影響を及ぼす。また、 <u>駐車場を撤去しないと北側にはスペースが無く、民間事業者が例えば提案としてあがっているようなカフェ等を整備する余地がない。</u>	B

注釈

- ※ 1 PR Public Relations の略。①会社や官公庁などが事業内容や施策などを一般的に広く知らせること。②売り込み、宣伝。
- ※ 2 Wi-Fi Wireless Fidelity の略。無線で LAN（建物内やフロア内といった狭い範囲にあるコンピューター等で構築されたネットワーク）に接続し、インターネットを利用できる環境。
- ※ 3 PFI Private Finance Initiative の略。民間の資金と経営能力・技術力（ノウハウ）を活用して、公共施設等の設計・建設・維持管理・運営を行う公共事業の手法。